

# 学び舎通信

## 8月号

町内小中学校の情報を  
毎月お届けします



大中

親子できれいに

7月2日に親子奉仕作業を行いました。大河原中学校では年に2回親子での奉仕作業を行っています。今回は今年度第1回目です。雨が心配されましたが、何とか曇り空でもつてくれました。校庭、花壇、畑、プールの周り、とにかく広大な敷地です。大勢の保護者と生徒、職員も一緒に除草作業を行い、朝6時から1時間ほどの作業でしたが、見違えるほどきれいになりました。

朝のさわやかな空気をたくさん吸いながらの作業でした。最後に、環境整備委員会の皆さんが準備した飲み物をいただいて解散しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

こんなに大変なんだ!  
3学年「子育て理解講座」

7月1日、家庭科の保育授業の環として、町の保健士さんたちを講師に招いて、子育て理解講座を開催しました。はじめに、講師より妊娠初期から後期における胎児の様子をイラストでわかりやすく説明してもらいました。その後、妊娠後期の胎児と同じ重さのものを抱えて妊婦体験を行い、その動きづらさで日常生活の家事を行うことに驚愕し、妊婦の大変さを実感することができました。また、本物の赤ちゃんそっくりの人形で行った保育体験では、おむつ替えの難しさを体験し、だっこをしあやしながら、思わず笑顔になっていました。最後には、命の大切さの話をされて、自分が親になった時、どうするかを考えるきっかけになったようです。



金中

# 暗唱大好きシリーズ④ 大中編

朝の活動で

「暗唱読本」を配って2ヶ月ほど経ちました。月に1編か2編覚えればいかなと思っただけですが、なんともう10編以上も暗唱できるようになった生徒もあり、驚いています。家に持ち帰って暗唱している生徒もいます。

学校では、朝の活動として週に1回暗唱に取り組んでいます。左の写真は覚えたものを先生にチェックしてもらっているところです。先生の前には長い列ができあがります。並びながら口ずさぶ生徒もいます。



授業でも



また、国語の授業でも「暗唱読本」を活用しています。暗唱するだけでなく、グループで読み方を工夫し群読を行いました。右の写真はグループでの話し合いの様子です。作品を読み込み、表現の仕方を工夫して発表することで、作品への思いも深まったようです。全部暗唱できますという生徒が現れるのも楽しみです。期待しているところです。



大小

伝統を受け継ぎ、すばらしい大河原小学校に

7月5日は、本校の133年目の開校記念日です。先日行った開校記念の全校集会では、大河原小学校の卒業生でもある本校教員、嶋紀恵子先生が、当時の学校の様子を話しました。嶋先生は「卒業生は今でも大河原小学校を大切に思い、皆さんの頑張りを楽しみにしています。皆さんには、133年の伝統を受け継ぎ、すばらしい大河原小学校をつくってほしいと願います。」というメッセージを伝えました。これからも、地域の方々の願いをしっかりと受け止め、感謝の気持ちをもった子供たちを育てていきたいと考えています。

「仲間おに大会」

7月5日に運動委員会が企画した「仲間おに大会」が業間の休み時間を利用して行われました。「全校で仲間おにをして楽しく仲を深めよう」というねらいで行いました。梅雨の時期に校庭で遊ぶことが制限される中、全員が校庭でもおもしろい体を動かすことができ、子どもたちも満足そうでした。

この時期に企画した運動委員会の子どもたちに拍手を送りたいと思います。今後も何回か行う予定です。金ヶ瀬小学校のポプラ児童会は、他にも熊本地震の被災者のために募金を呼びかけたりするなど積極的に活動しています。



金小



南小

楽しいーうれしいー美味しー!!「いもだんご」

7月1日にJA仙南サービスさんのご厚意で、1年生がじゃがいも掘りを体験してきました。抱えきれないほどの収穫があり、家庭に持ち帰る他にいつもお世話になっている6年生にもプレゼントしました。それから、「いもだんごづくり」にも挑戦しました。「じゃがいもをつぶすのが難しかったです」「食べたらほっぺが落ちた」という満足そうな感想が聞こえてきました。

## 身近な自然再発見

…人間と共生する昆虫たち…



▲ハンコチョウマ

28 元祖うつるんです!

私が小学生の頃、登校途中で道端を蝶のように飛び黒っぽい虫がいました。つかまえて指でつまむと、羽の黒い模様がうつるんです。それが面白くて次々につかまえて遊んでいたら、遅刻しそうになったのは内緒の話ですが…。

この黒い虫の正体がカノコガというガの一種だと分かったのは大人になってからです。当時のお年寄りたちは「ハンコチョウマ」と呼んでいましたね。チョウマとは蝶の方言です。まるで判子を捺したように羽の模様が指などに転写されたので、こう呼ばれたのでしょう。

カノコガは、朝早くからでも飛んでいます。ガは夜だけ活動するのだと思っているかたが多

いでしょうが、明るい日中でも活動するガもいるのです。虫屋仲間「昼蛾」と呼んでいます。名前の「カノコ」は、「鹿の子ども」のことです。鹿の子どもは背中から腹部にかけて丸くて黒い模様が広がっています。カノコガは全国どこでも普通に見られます。道端に多いタンポポやスギナを食べているからです。

カノコガが属するヒトリガというグループには皆さんもよくご存知のアメリカシロヒトリがいます。名前のとおり、このガの原産地は北米大陸で、外来種の中でも悪名高い害虫です。土手の桜の木などで大発生する年があります。完全に駆除するのはかなり厄介なので、ドクガと並んで嫌われています。同じガでも子ども達の遊び相手になるガもいれば、毛嫌いされて殺されてしまうガもいます。虫と人間の関係ってほんとに複雑なものです。

次回は、真夏の雪に降らせるといって紹介しましょう。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん